

令和6年度 第3回学校運営協議会議事録

さいたま市立川通中学校

1 日 時 令和7年2月28日（金） 13：40～15：30

2 場 所 川通中学校図書館

3 出席者	会 長	1	平田 あつし	東岩槻連合自治会顧問
	委 員	2	三次 宣夫	川通地区連合自治会長・増長自治会長
	委 員	3	渡邊 美佐子	民生児童委員
	委 員	4	輪島 泉	主任児童委員
	委 員	5	木下 由美	川通中学校 チャレンジスクール実行委員長
	委 員	6	安藤 孝吏	ふれあいプラザいわつき館長
	委 員	7	六沢 純光	慈眼山常源寺住職
	委 員	8	葉抱 敬介	川通小学校 校長
	委 員	9	堀 麻美	川通中学校 PTA顧問
	委 員	10	牧内 香里	川通中学校 PTA会長
	委 員	11	鈴木 純	川通中学校 校長
	委 員	12	山口 祐貴子	川通中学校 教頭
	委 員	13	岩本 守広	川通中学校 教務主任
	委 員	14	春山 悟	川通中学校 学校地域連携コーディネーター

鈴木 寿武（生徒指導主任）  
 森田 洋子（教育相談主任）  
 田口 祐子（さわやか相談員）

欠席者

1	田中 久美子	バンビ保育園園長
---	--------	----------

4 次第

(1) 校長挨拶

(2) 会長挨拶

(3) 学校の現況報告

①令和6年度 学校評価について（教頭）

②令和6年度 学校課題研究について（教頭）

③生徒指導及び教育相談について（生徒指導主任・教育相談主任・さわやか相談員）

(4) 今年度の振り返り及び次年度の学校運営に関する基本的な方針について

①令和6年度 学校評価システムシートについて（校長）

②令和7年度 学校運営に関する基本的な方針について（校長）

(5) 熟議「地域一体型キャリア教育について」

(6) 諸連絡

①学校運営協議会委員アンケート調査について

②令和6年度卒業証書授与式及び令和7年度入学式について

③令和7年度学校運営協議会予定について

第1回 5月29日（木） 第2回 11月19日（水） 第3回 2月17日（火）

## 5 主な意見

### (1) 令和6年度 学校評価システムシートについて

#### ①ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現

- ・家庭学習の習慣については、小中連携で行うことが必要ではないか。
- ・基礎学力の定着は、学びの連続につながるベースとなる部分であり、学習習慣の定着を図ることが大切になってくる。小中で足並みを揃えてやっていきたい。
- ・小学校では宿題をあまり出さなくなっていたり、休み時間にやってもよいとされていたりする。そうすると、家で学習する習慣ができなくなっているのではないか。

#### ②安全・安心な学校に向けた積極的な生徒指導ときめ細かな教育相談体制の充実

- ・並列走行など、学年によって自転車の乗り方に課題がある。
- ・ヘルメットの着用や見通しの悪い場所、狭い道路など、川中生の日頃の様子をみているとよくできている生徒が多いと感じる反面、できていない生徒との差がある。その差を埋める指導が必要ではないか。
- ・いじめや不登校の状況をみて、先生方の関わりがよいと感じる。多様化してきている課題に対して、今後、保護者とどう関わっていくかが課題である。
- ・子どもをとりまく悩みが複雑になってきている現状の中で、専門職・専門機関との連携がさらに重要となっている。

#### ③信頼され、地域とともにある学校づくりの推進

- ・PTAや地域での活動を実施しているつもりではいたが、地域行事への参加に対する生徒の認識や参加率が低いことに驚いた。東岩槻まつりでの神輿や清掃ボランティアなどを新たに企画していく予定なので、ぜひ中学生に参加してもらいたい。
- ・青少年育成会主催の「すまいるday」や「ふれあい学習」に今年度から中学生ボランティアを募集し、数名参加してもらったところ、小学生や大人たちからは非常に有難がられた。ボランティア証明書も発行し、校長先生に表彰してもらったこともよかった。参加者を増やすために、PTAとしても力を入れたいし、学校からも発信してもらいたい。
- ・働き方改革もあり、土日に先生方に要望するのは申し訳ない。

#### ④学校課題研修及び職員研修を通じた教職員の資質向上

- ・フィールドワークで自治会を訪問する取組は非常によかった。
- ・給食試食会を通して、食育を通じ、地元の食材等について日頃から指導を重ねていることがすばらしく、こうした指導で地域愛も育まれていくと感じた。地域愛が芽生えるような教育活動を意図的・継続的に行ってほしい。

### (2) 令和7年度 学校運営に関する基本的な方針について

- ・仮承認をいただいた。

### (3) 熟議「地域一体型キャリア教育について」

- ・地域行事へのボランティアを募集する。
- ・地域の教育力を学校に生かしていきたい。
- ・未来くるワーク体験を小学校でも受け入れているが、もっと日常的に、関わり合いを持たせたらよいと考える。中学生が登校時に小学校前での立哨指導などができないか。
- ・今年度は、別の中学校を未来くるワーク体験を受け入れてみて、子どもたちの活動の様子から、改めてよい事業だと感じる。ぜひ川中生も受け入れ、地域の一員としてキャリア教育に貢献していきたい。
- ・地域の避難所運営に中学生を参加させられるとよいのではないか。
- ・小学校のチャレンジスクールに中学生がボランティアとしてきてくれると小学生にとっても非常にやる気がでる。
- ・ボランティアポイントを地域としても発行していけたらよいのではないか。